

生徒便覧

平成30年度

東京都立八丈高等学校
定時制課程普通科

東京都八丈島八丈町大賀郷3020

04996-2-1181

目次	P. 1
1 教育目標	P. 2
2 指導の重点	P. 2
3 時程	P. 3
4 職員名簿	P. 4
5 生徒在籍	P. 4
6 納入金	P. 5
7 教育課程・単位認定	P. 6
8 三修制について	P. 6
9 技能検定および校外における学修の単位認定について	P. 6
10 実務代替について	P. 6
11 図書館の利用について	P. 6
12 その他	P. 6
13 教育課程	
定時制教育課程	P. 7
別表 1 高等学校卒業程度認定試験科目一覧表	P. 15
別表 2 技能検定科目・単位数表	P.15
別表 3 校外における学修の単位認定	P.15
14 時間割	P.16
15 校務分掌一覧	P.17
16 部活動顧問一覧	P.17
17 年間行事計画	P.18

(1) 学校の教育目標

- ア 互いの人格を尊重し、自主的にかつ自律的に社会で行動できる自立した生徒を育成する。
- イ 互いの生命を尊重し、生涯を通してたくましく健康的に生きる生徒を育成する。
- ウ 国際社会の一員として、平和で活力ある民主的な社会の発展に貢献できる生徒を育成する。

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

生徒一人一人の潜在能力を最大限に引き出すために、

- ア 基本的生活習慣を確立させ、互いの個性を尊重する態度の育成を図るとともに、生徒自らが主体的に教育活動を行うことができる授業を目指す。
- イ 基礎学力の向上、コミュニケーション能力（人間関係形成能力や情報活用能力）の育成、生命を大切にす態度の育成などの観点を踏まえた教育活動を推進する。
- ウ 将来の目標と国際的な協調精神をもち、適切な意思決定ができる生徒の育成を図るとともに、意欲と活力あふれる学校を目指す。
- エ 情報発信を積極的に行い、家庭や地域社会と連携を図り、信頼される学校づくりを推進する。

2 指導の重点

(1) 各教科・科目の指導

- ア 学力向上を図るため、授業時数の確保と自ら学び考える態度の定着を図り、生徒一人一人の到達度・理解度に応じた指導を行う。
- イ 生徒による授業評価、授業公開、学校評価アンケート等を活用し、年3回、合計9日間の授業公開等、授業改善を計画的かつ組織的に推進する。教科書の題材に即し、ICT機器を活用した授業を推進する。
- ウ 各教科において、自分の意見や考えを明確に述べることができるよう、プレゼンテーション能力の育成を図るとともに言語活動の充実に資するよう創意工夫する。
- エ 図書館などを活用することで読書活動を推進し、教育活動のあらゆる場面で生徒が適切に日本語を運用でき、他者とコミュニケーションの充実ができるようにする。
- オ 教科「人間と社会」における美化活動を通して、環境保全の大切さを教え、地域への貢献意識を培う。
- カ 体力テストの結果を基に生徒の体力の現状を分析・把握して改善策を講じ、体育の授業や部活動、「特活の日」、LHRなど、教育活動のあらゆる場面を通じて体力の向上を図る。
- キ 円滑な人間関係を構築できるよう互いにコミュニケーションをとり、授業はもとより、給食の時間、LHRなどの教育諸活動、加えて校長、副校長、生活指導部主任等の講話を通して、道徳教育を推進する。

(2) 特別活動の指導

- ア 生徒による自主的な生徒会活動の運営を推進し、自ら主体的に考え行動する能力を伸長させる機会を確保する。さらにこの活動によって教育活動全体の活性化を図る。
- イ 年6回の「特活の日」を活用し、生徒一人一人が達成感を得られるよう工夫し、互いを尊重できる態度の育成と円滑な人間関係の形成を図る。
- ウ 年2回の防災教育推進委員会、年4回の避難訓練を通して、地域との効果的な連携や生徒の防災意識の向上を図る。
- エ 計画的に読書の時間を設定し、図書館の利用を促進するとともに蔵書の貸し出し率の向上を図る。

(3) 生活指導

- ア 給食喫食率の維持・向上など、食育や生活リズムをはじめとする基本的な生活習慣の確立を図る。
- イ 授業はもとより、行事や合同LHR等の生徒会活動に積極的に参加することで、問題解決能力や思いやりのあるコミュニケーション能力を育成する。
- ウ 合同LHR、セーフティ教室や避難訓練、SNS八定ルールなどで、規範意識や公共マナーの向上、健康・安全、防災意識の育成を図る。
- エ 教職員は組織的に連携し情報交換することによって、問題行動等の早期発見・解決に努める。また、生徒一人一人の個性に配慮した相談機能を確立し、安全な学校づくりを目指す。

(4) 進路指導

- ア 教科やLHR等でキャリア教育を計画的に実践し、生徒一人一人のコミュニケーション能力の充実を図るとともに、望ましい勤労観を育成する。
- イ 生徒の進路希望を的確に把握し、進路実現に対する意欲を向上させる。加えて情報活用能力の育成を図る。
- ウ ハローワークなどの外部機関と緊密な連携を図る。

(5) 総合的な学習の時間

- ア 生徒が自己の課題を理解し、解決するために必要となる自己表現能力及び論理的思考能力の定着を図る。
- イ 将来設計能力や意思決定能力の育成を図り、意欲的に進路を選択する態度を育成する。
- ウ 評価計画については、演習課題への取組等を総合的に評価する。

3 時 程 (午後)

平常の時程

1校時	5:30~6:15
給食	6:15~6:40
2校時	6:45~7:30
3校時	7:35~8:20
4校時	8:25~9:10

早出し給食時程

給食	5:30~5:55
1校時	6:00~6:45
2校時	6:50~7:35
3校時	7:40~8:25
4校時	8:30~9:15

※ 1時間目に遅刻しないよう余裕をもって登校しましょう。

※ 行事予定表の斜体文字は早出し給食の日です。

6 納入金 (年額)

1年（30年度入学生）

授業料	32,400円
給食費	81,000円
学年積立金	75,000円

2年（29年度入学生）

授業料	32,400円
給食費	81,000円
学年積立金	60,000円

3年（28年度入学生）

授業料	32,400円
給食費	81,000円
学年積立金	60,000円

4年（27年度入学生）

授業料	32,400円
給食費	70,000円
学年積立金	0円

① 授業料について

平成26年度入学生から一定条件（世帯当たりの収入）により就学支援金を支給し、授業料の支払いは不要となる制度に移行しました。

② 学年積立金について

- ・学年積立金は、遠足、修学旅行、特別活動等に使います。また、積立金は入学時期により金額に違いがあります。

7 教育課程・単位認定

① 教育課程は、P8～P.12 別表1の通りです。

② 1単位あたり欠課（授業に参加しない）時数が10回以内の場合に、その科目を履修したことが認められます。

- ・担当教員が教室に行き、全員を点呼し終わった時点で、その場にはいない場合は遅刻とする。
- ・授業への参加が30分に満たない場合は欠課とする。
- ・15分以上の遅刻または15分以上の早退で欠課とする。
- ・学期ごとに3度の遅刻・早退で1回の欠課と数える。

③ 学年末の5段階評定が2以上の場合に、単位の修得が認定されます。

各学年で定められた単位数を履修・修得することにより進級、卒業が認められます。

8 三修制について

3年間で卒業することも可能です。本校のカリキュラムで修得する単位とは別に単位を修得して、合わせて74単位以上になれば卒業になります。

カリキュラム外の単位として文部科学省の定めた「高等学校卒業程度認定試験」に合格し、申請すると、その科目の単位として認定されます。認定試験の行われている教科・科目は【別表2】の通りです。

また併修によって、単位を修得することもできます。

9 技能検定および校外における学修の単位認定について

【別表3】の各種技能検定に合格し、申請すると、その対応する科目の単位として認定されます。

また、校外における学修についても卒業単位として認定されます。詳しくは【別表3】にあります。

10 実務代替について

職業に関する各教科・科目と密接な関係にある職業に従事し、その成果が科目の履修と同様であると判断された場合は、その実務が教科・科目の履修の一部と見なされ、単位を修得することができます。

11 図書館の利用について

① 開館 月～金曜日 17時以降 職員室で声を掛けて開館してもらうこと。

② 利用

きまり 他人の迷惑になるようなことは慎む。飲食は禁止です。

貸出 本を借りるには図書カードが必要となります。

一人4冊、それぞれ2週間借りることができます。

返却日を過ぎても返却されない場合は、督促状を発行します。

紛失は弁償することになります。

12 その他

① 本校定時制課程では、所定の用紙で届け出た場合、原動機付き自転車・自動二輪・自動車での通学を認めています。交通ルールを守り交通安全に努めてください。

② 給食室の衛生上、上履きと下履きの区別は守ってください。

③ 欠席、急な欠食（給食を取らない）等の際には、必ず学校に連絡してください。

④ 授業等においては携帯電話の電源を切っておいてください。定期考査等における不正使用など絶対にしてはいけません。細かいルールについては各教科の先生の指示に従ってください。

⑤ 学校敷地内での喫煙、飲酒は、たとえ成人であっても認めていません。